

令和4年度 博物館・資料館事業報告

1. 特別展・企画展

【佐渡博物館】

特別写真展「宮本常一写真で読む佐渡」(最終回)「自前の文化」

- ・開催期間: 令和4年4月1日(金)～6月15日(水) ・来館者数: 1,463名
- ・内容 生活文化研究フォーラム佐渡による宮本写真(パネル)などの展示。 展示数約60点

企画展「クジラから見る佐渡人と海の文化」

- ・開催期間: 令和4年7月23日(土)～10月2日(日) ・来館者数: 2,071名
- ・内容 佐渡で発見されたツチクジラの化石を軸に、クジラを通して佐渡の海と人々の生活文化の豊かさを知ってもらい、島における海と人々の共存について考える。
展示解説会 8月20日・9月17日・10月1日(午前・午後各1回) 計6回 延べ55名参加
ワークショップ・・・「骨を発掘しよう！」 9月11日 2回 延べ39名参加
「漂着物アートをつくろう！」8月27日 13名参加

企画展「佐渡の人形芝居たち」

- ・開催期間: 令和4年7月31日(日)～9月11日(日) ・来館者数: 1,341名
- ・内容 人形頭や台本などの佐渡の人形芝居資料 約110点を展示
人形芝居上演・・・7月31日、8月6・13・14・21日 全5日10団体参加(各日2団体ずつ上演)
参加団体 真明座・大崎座・廣栄座・常盤座・野浦双葉座・新青座・大和座・
高千中学校・真野中学校・新穂地域づくり協議会

企画展「佐渡市所蔵刀剣展」

- ・開催期間: 令和4年10月1日(土)～11月30日(水) ・来館者数: 1,620名
- ・内容 佐渡市所蔵の刀剣など約40点の展示。会期中に展示説明会を開催。また関連事業として特別講座を開催。
展示解説会 10月10日、11月6日(午前・午後各1回) 計3回 延べ約70名参加
特別講座 6月11日、7月9日、9月10日、10月15日 全4回 延べ92名参加

鈍翁茶会関連展示「佐渡の美術・工芸」

- ・開催期間: 令和4年10月8日(土)～23日(日) ・来館者数: 598名
- ・内容 佐渡鈍翁茶会2022(10月9日開催 史跡佐渡奉行所跡)の関連企画として、佐渡博物館に寄贈いただいた益田鈍翁資料の一部を展示。また、展示室の半分には佐渡の作家制作のお茶に関連の作品を展示。 ・展示数50点(内鈍翁資料22点)

「美しい能」

- ・開催期間:令和4年11月2日(水)～令和4年11月6日(日) ・来館者数:216名
- ・内容 一般社団法人松の会所蔵の能衣装・小道具の展示

企画展「布施伸介作品展」

- ・開催期間:令和4年10月8日(土)～12月11日(日) ・来館者数:1,496名
- ・内容 平成19年に寄贈された作品群の中から、佐渡の人形芝居を描かれた作品を35点展示。

企画展「佐渡に人が住みはじめたころ～縄文の大集落と米づくりの里～」

- ・開催期間:令和4年12月17日(土)～令和5年3月21日(火・祝) ・来館者数:780名
- ・内容 佐渡に人が住みはじめた縄文時代と米づくりがはじまった弥生・古墳時代を比較し、豊かな自然の恵みを受け、様々な地域と交流しながら暮らしていた佐渡の人々の生活を紹介する。

展示解説会 12月17日 令和5年1月21日午前・午後各1回 延べ31名参加

ワークショップ「土器の文様をうつしてみよう」 参加者5名

2階常設展示室の更新 地質分野展示更新

【佐渡植物園】

「ウチョウランと初夏の山野草展」

- ・開催期間:令和4年7月2日(土)～3日(日) ・来場者数:118名
- ・内容 植物園友の会と愛好家が育てたウチョウランと初夏の山野草の展示
ワークショップ「株分け・挿し木教室」「除菌アルコールスプレー作り」 25名参加

「大文字草と秋の山野草展」

- ・開催期間:令和4年10月22日(土)～23日(日) ・来場者数:140名
- ・内容 植物園友の会と愛好家が育てた大文字草と秋の山野草の展示

「雪割草展」

- ・開催期間 令和5年3月25日(土)～26日(日) ・来場者数:109名
- ・内容 植物園友の会と愛好家が育てた雪割草の展示

【佐渡国小木民俗博物館】

特別写真展「宮本常一写真で読む佐渡」(最終回)「自前の文化」

・開催期間:令和4年7月1日(金)～8月31日(水) ・来館者数:3,075名

※内容は、上記佐渡博物館特別写真展に同じ。

【新穂歴史民俗資料館】

新穂の歴史と民俗を考える会が中心になり企画展を実施。

① 川上典子(聖月)書展

・開催期間:令和4年3月1日(火)～4月17日(日) ・来館者数:562名

② アール・ブリュット展

・開催期間:令和4年4月23日(土)～5月22日(日) ・来館者数:382名

・共催:佐渡アール・ブリュット

③ 引野晃写真展

・開催期間:令和4年5月28日(土)～6月26日(日) ・来館者数:530名

④ 新穂銀山の時代展

・開催期間:令和4年7月2日(土)～8月28日(日) ・来館者数:600名

・企画:世界遺産推進課(文化財室)

⑤ 裂き織り作品展

・開催期間:令和4年9月3日(土)～10月16日(日) ・来館者数:599名

⑥ 所感ふくじゅそう展

・開催期間:令和4年10月22日(土)～11月30日(水) ・来館者数:133名

2. 各事業

【調査・研究・収集事業】

＜博物館・資料館収蔵品調査＞

各所管施設の収蔵資料について整理・調査を行い、台帳やリストを作成した。

＜寄贈・寄託・収集等資料＞

寄贈・寄託資料の受入および収集を行った。

＜新潟県立文書館歴史資料所在確認調査の協力＞

令和4年8月30日～31日 両津の椎泊地区の歴史資料所在確認調査に協力した。

【普及・啓発・学習活動支援事業】

＜クイズブック＞

クイズ(冊子)を楽しみながら館内展示を見て回ることができる取組で、佐渡博物館、佐渡国小木民俗博物館に設置されている。

＜ワークショップ・イベント等＞

「天文教室」

- ・開催時期 令和4年7月23日(土) ・参加者数:38名
- ・内容 ジオパーク推進室の相田学芸員を講師に招き、両津運動広場を会場に星空に関する授業を行った。(悪天候により屋内で映像による授業)

「ナイトミュージアム」

- ・開催時期 令和4年10月1日(土) ・参加者数:24名
- ・内容 佐渡国小木民俗博物館において、田楽ちょうちんをつくり、「小木民話の会」の民話朗読、あかりの変遷の講話を聞いた後、懐中電灯を極力使わず、ちょうちんの明かりで館内をまわった。

「ボタニカルフェスティバル～佐渡植物園感謝祭～」

- ・開催時期 令和4年10月23日(日) ・参加者数:170名
- ・内 容 木のお話-年輪から読みとる木の一生-・中川清太郎と観る植物園と植物のお話
くらしに薬草を～野草石けんづくり教室～ ・鉢植えのお医者さん
パネル展示『佐渡国薬種二十四品』 ・親子ふれあいの場

「文学歴史散歩 鳥越文庫探訪」

- ・開催時期:令和4年7月10日(土)・11月3日(木・祝) ・参加者数:36名(各回19名)
- ・内容 慶宮寺八祖堂・本堂を見学したあと、猿八の鳥越文庫で鳥越文庫ができた経緯を聞き、文弥節を鑑賞、猿八を散策し法華堂・越敷神社を見学した。

「切り紙ワークショップ」

- ・開催時期:令和4年12月11日(日) ・参加者数:19名
- ・内容 両津郷土博物館で講義「正月はなぜめでたいか」を聞き、正月に向けて干支などの切紙を実際に作成した。

「あつまれ!さどはく」

- ・開催時期 令和4年12月17日(土) ・参加者数 119名
- ・内容 ワークショップ「空気砲で的あて」「ミニ門松づくり」「縄ないリースづくり」

「化石レプリカづくり」

「ロックガーデンクイズ」「博物館探検クイズ」、展示解説、企画展解説
チューリップ球根の配布など。

「ジュニア学芸員養成講座」

- ・内容 幼少期から佐渡の魅力に触れることで、地域愛を育む一環とする。前期、後期のグループで、それぞれ 6 回の講座を実施。

【前期】開催時期:5～10 月、参加者数:19 名(小学校2～3年生)

【後期】開催時期:7～12 月、参加者数:13 名(小学校1～2年生)

- ・第 1 回 金山について(きらりうむ佐渡見学)
- ・第 2 回 GIAHS について(トキの森公園見学、トキと共生目指す農法)
- ・第 3 回 佐渡の生きものについて(野山で生きもの調査)
- ・第 4 回 海との関わり(佐渡博クジラ展)
- ・第 5 回 人々の生活について(小木博にて、おこし型づくり)
- ・第 6 回 第1～5 回までの振り返り

<出前授業・講師依頼>

- ・出前授業 20 件

市内小中学校の要望に沿い、学校への出前授業を行った。3 年生単元「むかしの暮らし」、鬼太鼓を中心とした「佐渡の芸能」の要望が多かった。

- ・講師依頼 2 件

公民館連携事業として、両津編(加茂湖畔周遊散策・両津郷土博物館見学)、相川編(京町通散策・佐渡奉行所跡見学)の講師を受け持った。

<職場体験・見学>

佐渡博物館にて真野中学校及び佐和田中学校、佐渡国小木民俗博物館にて南佐渡中学校及び羽茂高等学校の職場体験の受入を行った。

<博物館実習>

- ・大東文化大学の大学生 1 名の受入れを行った。
- ・新潟大学人文学部夏期博物館実習

両津郷土博物館の所蔵資料の調査・記録を行った。

参加者:21 名 調査数:112 点

<地域偉人マンガ「有田八郎」活用事業>

令和3年度に B&G 財団の補助金事業を活用し作成した有田八郎の功績を紹介するマンガを、市内の図書館、学校の図書室その他公共施設などに設置した。また、市内小学校6年生に卒業の記念品として贈呈するとともに、佐和田地区の高齢者学級でも紹介配布した。

配布数:706 部

<佐渡博物館マスコットキャラクター活用事業>

佐渡出身の漫画原作者 赤坂アカ氏にキャラクターデザインをしていただいたキャラクターの名前を全国から公募し、以下のとおり決定した。選考にあたっては、公募委員5名による「佐渡の博物館マスコットキャラクター名称検討会」を開催し、審査を行った。

・応募期間:令和4年 10 月 20 日～11 月 20 日

・応募総数:178 名

・男の子: 蒼井 零 (あおい れい)

命名理由:クールなキャラクターのイメージに合い、さわやかな響きが佐渡を連想させる。

・女の子: 姫埼 美海 (ひめさき みう)

命名理由:佐渡を訪れる人を迎え入れ、明るく照らす「姫埼灯台」のイメージがガイドを目指すキャラクターに合う。

【レファレンス・資料貸出等】

<レファレンス(照会対応)>

佐渡の自然・歴史・文化に対する照会に対応した。 28件

<博物館資料の特別利用>

各施設・資料の特別利用(撮影、取材、調査研究、画像提供依頼など)に対応した。

また、特別利用の申請手続や許可基準等について要綱を制定した。

<資料貸出>

・NHKプロモーション「DESIGN MUSEUM JAPAN」展・・・船簞笥・石見焼片口ほか(6 点)

・新潟県立歴史博物館企画展「生業絵巻」展 鉾山模型・佐渡鉾山絵巻ほか(4点)

・雪梁舎「雪梁舎設立30周年記念 MIYATA」展 蛭型鍔金銅ひねり双龍香炉ほか(2点)

・新潟県立自然科学館特別展「ポケモン化石博物館」 関産昆虫化石(8点)

<博物館研究ノート>

学芸員が携わった企画展の調査研究の成果等を発表した。

【施設利用者数】

施設名	利用者数（無料入館者含む）	参考（令和３年度）
佐渡博物館	6,596 名	4,267 名
両津郷土博物館	610 名	87 名
相川郷土博物館	551 名	2,952 名
佐渡国小木民俗博物館	10,992 名	6,816 名
新穂歴史民俗資料館	3,241 名	2,291 名
相川技能伝承展示館	3,170 名	3,997 名
史跡佐渡奉行所跡	16,341 名	10,842 名
畑野鳥越文庫	426 名	299 名
佐渡植物園	集計なし	集計なし
幸丸展示館	集計なし	集計なし
日本アマチュア秀作美術館	集計なし	集計なし

【施設修繕工事】

施設名	修繕内容
佐渡博物館	貯水槽 FM バルブ入替修繕 複合火災受信機修繕
両津郷土博物館	煙感知器修繕 トイレ修繕
相川郷土博物館	収蔵庫 照明器具安定器取替修繕
佐渡国小木民俗博物館	引込計器盤キャビネット修繕 公衆トイレ（身体障害者用）修繕 トイレ自動水栓修理
新穂歴史民俗資料館	倉庫漏水修繕 雨漏り修繕
相川技能伝承展示館	陶芸実習室 照明器具安定器取替修繕 コロナブルーバーナー修繕
史跡佐渡奉行所跡	火災報知設備修繕（自動火災報知設備） 消防設備修繕（感知器・屋外消火栓ホース） 消防設備感知器修繕（差動式スポット型感知器修繕）
畑野鳥越文庫	浄化槽ブロワ修繕
佐渡植物園	草刈機修繕 配管修繕 温室修繕
日本アマチュア秀作美術館	ドアクローザー修繕

【施設整備】

＜相川郷土博物館耐震改修工事＞

相川郷土博物館として活用している御料局佐渡支庁跡は、経年劣化による破損等が進んでおり、耐震補強が必要な状況にある。令和3年度に策定した実施設計に基づき、令和4年度からは耐震改修工事に着手した。

また、近代の佐渡鉱山の経営や技術を紹介する展示へのリニューアルのため、展示資料の選定や展示パネル文章の執筆作業を進めた。執筆は、鉱山史や近代史に詳しい専門家等に依頼し、「令和4年度相川郷土博物館展示検討会」を12月、2月に開催し、内容の詳細を協議した。